

お客様各位 元氣通信

ネガティブ思考をぶっ飛ばせ！
(言葉の力 第2弾)

こんにちは！ サーマルタンクの新洋技研工業です！ 去る六月一日、東京池袋において全国新酒鑑評会の一般公開と日本酒フェアが同時開催されましたね。昨年は一般の方たちと酒販店さんやメーカーさんなどが時を同じくしてきき酒会場に入ったためか、かなりの時間待ちとなり、また日本酒フェアも会場が狭いなど課題を残したようでしたが、今年はきき酒も一部と二部に分かれ、日本酒フェアの会場も広くなるなどの工夫がされており、開放感がある中で楽しませていただきました。来年は各県のブースで日本酒に合うその地の特産物などを同時に販売してもらえたら嬉しいなあ、などと期待しております。ワクワク！

さて、今年の元氣通信の新年号に「言葉の力」と題してお話をさせていただきましたが、4月の終りに友人から「引き寄せの法則」セミナーというのがあるから一緒に行かない？と誘われ行ってみることにしました。

引き寄せの法則とは、という話の他に自分の長所を二〇ヶ記載する、鏡を渡されて自分自身を見る、瞑想する、自画像を描く、自分への手紙、母への手紙、そして父への手紙などを書く時間があったのですが、その中で何が一番できなかったかって・・・自分の顔を鏡でまじまじと見ることでした。結構辛いです、これがまた。

その次にできなかったのは、自分の長所を二〇ヶ書くことでした。ナルシストじゃあるまいし、照れくさい、そんな思いとコンプレックスが自分を否定していたわけです。けれど「自分を否定している人が、他の人を受け容れる・思い遣ることはできないですよ」という講師の言葉に思わず「うん・・・」全ての根源は自らにあるのだとすれば、まずは自分を受け容れること、そして他を受け容れ、感謝の念を持つことが成功への第一歩・・・ポジティブな思考にはポジティブな事象が、ネガティブな思考にはネガティブな事象が引き寄せられる。それならネガティブな思考はこの際ぶっ飛ばしていいことを引き寄せたいですよ！ ちなみにこの講師、昨今のテレビ報道は暗いことしか流さないから見えないほうがいいと言っていたある日、突然家中の電気がダウンし、復旧させたはいがなぜかテレビだけが復帰せず、それから二週間ほど見れなかったのだそうで・・・ひええ！

日本の野鳥シリーズ

ナンヨウショウビンとほろ苦い思い

技術営業部 佐藤 弘

国内の鳥類図鑑に載っている稀少種の鳥を、外国で全く思いがけず観察できた時の喜びは旅費が丸々浮いた気分だが…。

シンガポールのセントーサ島へ空中ケーブルで渡る山上駅マウント・フィーバーで、行列先頭の私がゴンドラに片足を掛けようとした背後で“You first please” “Thank you” という声。こんな時にもレディー・ファーストを励行するとは知らなかったが、時すでに遅く足は戻せない。私に続いて乗り込んだ四人の白人は初老の婦人と連れ合い、それに二人の青年だった。

紳士はニューズ・ウィーク誌の役員、ベトナム戦争から帰還しないパイロットだった息子の情報を求めて、昨日までバンコクに滞在して居たと言う。口々にお気の毒ですと言った若者は、休暇中のオクスフォードの学生だと明かした。図らずも、婦人をレディーと認めず眺めのよい席を選ぶ権利も与えなかった間抜けな男は、見事完璧に無視され透明人間になっていた。

“I apologize for manner-less behaviour I have done” 無作法を詫びようと思いかけて止めた。取り付く島もないし、下手な発音にかこつけて「通じない」と拒絶されたら立つ瀬がない。もしカミさんでも連れていたら、**婦人優先**なんて知った事か、揺れるゴンドラに先に乗り連れの手をとるぐらいのエスコートをして誰にも文句は言わせない。だが一人旅だった。

島にはとびきりの珍鳥ナンヨウショウビンがいた。国内では石垣島辺りでたまに観察される、下面と襟首が白で背面がサンゴ礁の海の色という美しいカワセミだ。人気のない道のパイプ柵に止まって、脇の草むらから出てくるバッタ等の獲物を待ち伏せしている様子だった。その後本島に戻り、水道水源池の周りでこれも珍鳥の色鮮やかなシマノジコを観察した。

あの六人乗りゴンドラの中で一人肌の色が違う私は、陰では根強く残るといふ人種差別されたのか、それともあれは無知で非礼な男に対する蔑みなのか、その両方か、知る由もない。しかし私も既に三児の親、「岸壁の母」ならぬ、終戦から9年になるのにひたすら我が子の帰りを待ち続ける親心を思い、無意味な詮索は止した。あれからもう24年になる。

酒蔵さんとの長ーいおつきあい

第 17 話

取締役会長 大辻 英郎

修理・改造のためにサーマルタンクが私共の工場に戻って来ることが時々あります。

日頃の清掃等のメンテを心掛けて居られる蔵元のタンクは綺麗な姿で戻って来ますが、そうでないものもあります。

特にコンデンサー回りに付着したホコリ等は掃除機などで吸い取っていただかないと、運転不能になることがあります。電源を切ってから手入れを行なって下さい。

当社も経営難の時代があり社運を良くするための一つの手段として 5S 運動を継続しています。

未だ経営好転には到ってませんが、それにより整理整頓はある程度できてきましたし、それに伴って製品の出来かたも向上し更に早くなり、お客様からのクレームも少なくなりました。

原価低減に繋がっているようです。

社員による新入社員への技術研修もスムーズに行なわれる等の思わぬ効果も出ております。

また、製品部材の有効利用など素晴らしいものがあります。

次号へつづく

願いを引き寄せる (引き寄せの法則セミナーより)

- ☆ 願いを明確で具体的にする。できれば期日まで決める。
- ☆ 現在進行形 (したい、ではなく、である)
- ☆ ネガティブワードは使わない
- ☆ 不平・不満・愚痴を言わない
- ☆ 感謝する
- ☆ 瞑想する
- ☆ 頑張ろうとしすぎない
- ☆ 願ったらノートに記載し、時には忘れる (固執・執着を避ける)
- ☆ すでに「できている」と思うこと
- ☆ 陰徳を積む



東急電鉄物語

メッセージ

生産資材主任 島貫 修一

え、こんな歌があったの！

FM の音楽番組から驚きの歌が流れて来た。1980 年代の東急電鉄の目蒲線 (めかません) をテーマにした曲で、その名も「目蒲線物語」。演歌のような曲名だが内容は東急の各路線を擬人化し、新型車両が走る東横線を旧型車ばかりの目蒲線がままこ扱いと嘆く物語で、当時の東急を知っている者にとっては抱腹絶倒の歌。歌詞に出てくる東急の東横線・田園都市線・目蒲線は私も利用していたが、最新の車両が疾走する快適な東横線から、年代物の車両がガタゴト走る目蒲線に乗り換えると、「東京にもローカル線があるんだなあ」と思ったものだった。そのため目蒲線がひがんでいじけている歌詞を聴くと、まったくその通りだったと同情してしまう。更に目蒲線の下丸子は仕事でしか行かなかったのに対して、東横線で自由が丘と渋谷へ遊びとデート (田園調布と代官山は素通り)、田園都市線の溝の口へは週末の買い物と使い分けていたため、余計そう感じられるのかもしれない。

今では東横線は東京と横浜を結ぶ幹線として、田園都市線は中央林間 (「金曜日の妻たち 2」の舞台) から多摩丘陵を通る通勤路線として共に大活躍しているのに、目蒲線は 2000 年に目黒線と多摩川線に分割されて、名前が路線図から消えてしまった。かわいそうな路線だったな目蒲線は。